

平成10年8月

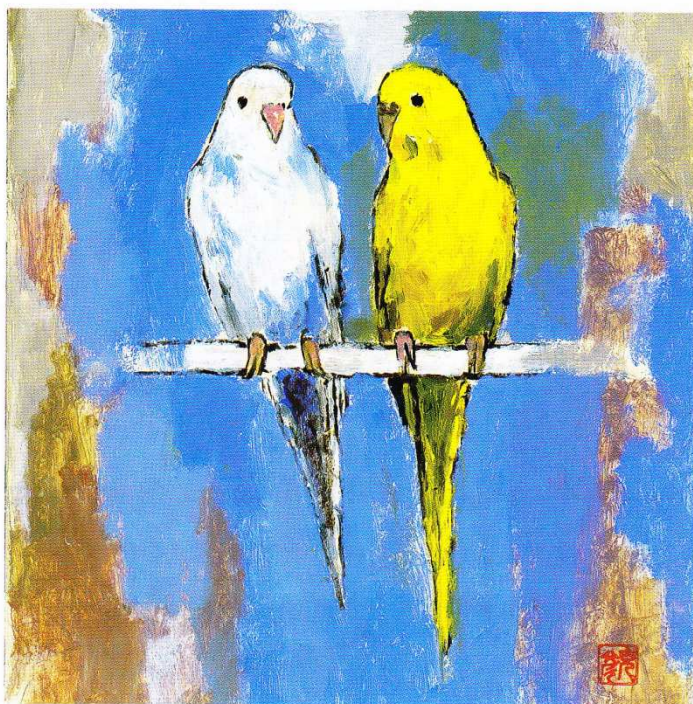
発行

第9号

会報

〈編集発行〉
更生保護法人
広島県更生保護協会

〒730-0012
広島市中区上八丁堀2-15
TEL・FAX (082)221-4585



光風会会員 石田克彦画

“
パートナー
”

初めて当地に参り、ようやく地理が分かってきました。昨今でございます。

さて、更生保護協会の果たす役割は、ご承知のとおり、更生保護に賛同・共鳴される

多くの方々から浄財を得て資金を確保し、多様な事業が出来るように助成することでございます。この使命をしっかりと受止めていただき、不況下にもかかわらず、一億円基金の造成を達成されました。役員の方々の皆様の努力に深甚なる敬意を表し、感謝申し上げます。

ところで、広島県内の更生保護事業の重大関心事は、更生保護制度施行五十周年事業と二つの更生保護施設の全面改築でございます。日常的関心事としては、保護観察の処遇方法

としての社会参加活動の充実と新しい処遇方法の開発であり、犯罪を予防するための地域活動でございます。これらはいずれも地区保

一層のご支援ご協力を



広島保護観察所長

峪 口 基 寛

護司会や更生保護婦人会等の活動に負うところが大きく、また、それぞれの県組織にその東ね役としての役割を担っていただきたく、期待を寄せているところでございます。

更生保護制度の歴史を振り返りますと、知恵・労力・資金いずれも篤志家が提供し事業を始め、そして育て、その事業の有効性を国が認め、行政として施行するところとなったのでございます。しかし、篤志家の果たす役割は少しも減じていなく、むしろ重要案件には篤志家の力に負うところが大きく、まさに『民間』に支えられての『官』でございます。

先に触れました諸事業が円滑に推進出来ますように、私の御挨拶とさせていただきます。



磐石な基盤を 目指して

広島県更生保護協会
理事長 岡 本 繁

平素は当会の事業に、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて当会も、更生保護法
人と更衣して、二年が経過
しました。

この間、更生保護事業は、
関係機関・団体ばかりでな
く、外部との関係が一層求
められていると思われま
す。今日まで皆様の御努力によ
り事業の充実を進めていく
中で、十分な運営が出来な
かったことがあったかも知
れませんが、今ここで、当会
の基本的な問題を点検し整
備を行って、内外へ向けて
の理解を深め、事業の一層
の発展を期さなければなり
ません。

悪な事件は増し、また、帰
るべきところのない、犯罪・
非行をした人を引き受けて、
彼等の社会復帰に尽くされ
ている更生保護施設の利用
は、増加のいっけずで、六月
の収容率は一〇〇%を越え
たと伺いました。
各位のご苦勞はいかばかり
かと察しられる今日です。
このような活動に対し十
分な助成がでず、申し訳
なく思っています。
今後、当会として、内外
にもより一層理解をいただ
けるよう、磐石な体制を築
き、事業の充実を求めて参
りたいと思います。
この時こそ一人一人のお
力添えをいただき徳積みと
してこの事業が発展するな
らばすばらしい社会となる
ことでしよう。
御支援下さい。

● 一億円基金寄付者ご芳名 ●

株式会社中電工 取締役社長 池内浩一	300,000	中国醸造株式会社	100,000
-----------------------	---------	----------	---------

篤 志 寄 付 者

平成9年4月1日～10年3月31日

(株)フジタ	広島市	100,000	平岡スズコ	広島市	100,000
中国電力(株)	〃	100,000	こだま産婦人科医院	〃	200,000
広島電鉄(株)	〃	100,000	小玉 敬彦	〃	200,000
(株)中電工	〃	100,000	小川 頼 美	福山市	200,000
広島ガス(株)	〃	100,000	(株)アーテック・ツガワ (代津川 竹儀)	〃	200,000
(株)広島総合銀行	〃	100,000	桐 澤 秋 生	〃	200,000
(株)広島銀行	〃	100,000	荒 木 常 夫	〃	200,000
マツダ(株)	〃	100,000	信 野 博 文	〃	200,000
(株)中国新聞	〃	100,000	備後空港株式会社	〃	200,000
富 島 綾 子	高田郡	50,000	室 宗 遠	〃	200,000
(有)川辺運送店 (代川辺 隆志)	尾道市	200,000	井 上 正 昭	〃	200,000
岡 田 孝 裕	賀茂郡	10,000	粟 井 末 次	〃	200,000
(株)東映ゴルフ倶楽部 取締役支配人 寺川 清	東広島市	10,000	佐 藤 数 則	〃	200,000
源 光 寺	賀茂郡	10,000	渡 邊 博 之	〃	200,000
福 原 久 泰	東広島市	10,000	坂 本 知 光	〃	200,000
原 田 政 範	三原市	200,000	新 田 正 治	〃	200,000
広島日本電気(株) 社長 白石 正道	東広島市	20,000	岩岡士建(有) (代岩岡 幸人)	〃	200,000
尾道市農業協同組合 代表理事組合長 豊田 農治	尾道市	20,000	石 川 敏 雄	〃	200,000
梶 本 洋 生	広島市	100,000	坂 本 良 子	東京都	210,000
随 行 孝 文	賀茂郡	10,000	山 本 昌 行	福山市	200,000
水 戸 正 晃	東広島市	100,000	(株)四川 (代吉田 龍男)	〃	200,000
大 下 治 郎	高田郡	200,000	中 野 運 輸 (有)	〃	200,000
三浦工業(株) 代表取締役会長 三浦 義實	広島市	300,000	小 林 海 暢	尾道市	200,000
三浦工業(株) 代表取締役社長 三浦 壽	廿日市市	200,000	(財)多山報恩会 理事長 倉田 信雄	広島市	200,000
野 崎 祐 正	呉 市	200,000	森 本 智 佐 子	大竹市	100,000
鍛 冶 山 政 盛	広島市	200,000	松 家 宗 實	広島市	9,000
三原地区 更生保護婦人会 会長 内海 克江	三原市	30,000	山 本 克 莊	〃	200,000
林 原 澄 子	尾道市	20,000	広島県更生保護婦人連盟 会長 轅建 末子	〃	200,000
			匿 名	〃	200,000

(単位 円)

平成9年度事業成績

更生保護事業

(1) 一時保護事業

項 目	助 成 理 由	金 額
一 時 保 護 事 業	金品給与費	700,530
合 計		700,530

(2) 連絡助成事業費

ア 更生保護法人等に対する助成

助 成 先	助 成 理 由	金 額
ウ ィ ズ 広 島	施設運営費	700,000
呉 清 明 園	〃	700,000
そ の 他 の 助 成	事業運営費	188,400
合 計		1,588,400

イ その他の助成

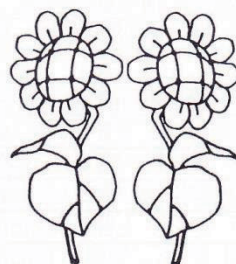
助 成 先	助 成 理 由	金 額
広島県保護司連合会	事業運営費助成	2,100,000
地区保護司会	〃	5,565,000
広島県BBS連盟	事業運営費助成・ 全国学生BBS大会	700,000
広島県更生保護婦人連盟	事業運営費助成	105,000
地区更生保護婦人会	〃	1,666,000
そ の 他 の 助 成	〃	1,905,000
合 計		12,041,000

項 目	内 容	金 額
地区保護司代表者会議助成	開催経費	50,000
保護司研修会等助成	開催経費	401,830
更生保護事業推進連絡助成		459,818
合 計		911,648

(3) その他連絡助成以外の事業

項 目	内 容	金 額
第47回社会を明るくする運動	社明啓発	105,898
機 関 紙 発 行 費	会報4,700部	575,458
調 査 研 究 費	ふれあい体験集発刊 処遇研究会・その他	497,708
地 域 活 動 推 進 費	関係機関・団体連絡会	391,000
処 遇 活 動 費	交通短期集団処遇活動	100,000
表 彰 費	法務大臣等感謝状記念品等	430,792
中国・県更生保護大会助成		500,000
更生保護施設建替積立金	ウィズ広島・呉清明園	300,000
合 計		2,900,856

項 目	内 容	金 額
特別事業(H5年)	一億円基金造成	27,543,811
(H6年)	〃	31,951,023
(H7年)	〃	34,914,173
(H8年)	〃	11,888,544
(H9年)	〃	400,000
合 計		106,697,551

平成10年度の
主な事業

更生保護法人 広島県更生保護協会

Ⅰ 運営に関する事項

当協会の定款第三条に定める目的に従い、同第四条に列記された各事業が円滑に行えるよう運営していく。このため、会員制度のより一層の拡充を図るとともに地元民間企業等を対象に寄付金の協力依頼をし、また収益事業の取り組みの検討をしていく。

(1) 連絡助成事業
更生保護事業を営む者に

- 対する連絡、調整又は助成
(2) 保護司活動に対する連絡・調整又は助成
(3) 更生保護に関する民間協力組織に対する連絡、調整又は助成
(4) 犯罪予防を図るための世論の啓発その他の活動
(5) 更生保護事業に関する調査研究及び資料の刊行
(6) 関係機関・団体との連絡協議
- Ⅱ その他の事項
- 1 平成10年度に開催される更生保護功労者顕彰式に参加協力・援助を行う。
- 2 保護司及び民間協力者が表彰された場合、これに記念品を贈る等表彰の援助を行う。
- 3 保護観察中の者及び保護観察を受けたことのある者等が、協力雇用主又はこれに準ずる人に損害を与えた場合に応分の見舞金を贈る。
- 4 更生保護法人中国地方更生保護協会の運営につき援助協力を行う。
- 5 長期的展望に立った県下更生保護施設の全面改築事業へ支援協力する。

平成9年度収支決算及び平成10年度収支予算

(収入の部)

(単位 円)

大 科 目		平成9年度決算額	平成10年度予算額	大 科 目		平成9年度決算額	平成10年度予算額
補 助 金 等 収 入		644,000	644,000	財 産 収 入		1,882,182	1,700,000
小 科 目	国庫補助金収入	0	0		利息及び配当金収入	1,882,182	1,700,000
	地方公共団体補助金収	0	0	会 費 収 入		12,626,000	10,300,000
	助 成 金 収 入	644,000	644,000	特 別 会 計 繰 入 金 収 入		0	1,500,000
寄 附 金 収 入		8,864,000	4,900,000	小 科 目	収益事業繰入金収入	0	500,000
小 科 目	篤志者寄附金	2,070,000	1,900,000		そ の 他	0	1,000,000
	共同募金分配金	0	0	雑 収 入		0	0
	役員等寄附金	2,984,000	2,000,000	収 入 合 計		24,016,182	19,044,000
小 科 目	その他の寄附金	3,810,000	1,000,000				

(支出の部)

大 科 目		平成9年度決算額	平成10年度予算額	大 科 目		平成9年度決算額	平成10年度予算額
一 時 保 護 事 業 費		853,839	859,000		B B S 活動連絡調整費	100,000	100,000
小 科 目	事 務 費	153,309	159,000	小 科 目	機関紙(誌)発行費	575,458	500,000
	給 料 手 当	150,000	150,000		大 会 費	500,000	0
	雑 給 与	0	0		報 償 費	430,792	380,000
	福 利 厚 生 費	0	0		調 査 研 究 費	497,708	431,600
	旅 費 交 通 費	0	0		その他の連絡調整費	850,818	284,000
	通 信 運 搬 費	1,020	1,000	科 目	顕 彰 式 分 担 金	0	100,000
	消 耗 品 費	189	1,000		助 成 費	13,536,000	10,260,000
	印 刷 製 本 費	0	2,000		継続保護事業助成費	1,400,000	1,400,000
	雑 費	2,100	5,000		一時保護事業助成費	0	0
	金 品 給 与 費	700,530	700,000		保護司活動助成費	7,665,000	5,900,000
連 絡 助 成 事 業 費		20,671,398	15,942,200		更生保護婦人会活動助成費	1,666,000	1,300,000
小 科 目	事 務 費	3,156,369	3,003,000	目	B B S 活動助成費	600,000	160,000
	給 料 手 当	1,550,000	1,550,000		そ の 他 の 助 成 費	1,905,000	500,000
	退 職 手 当	108,000	108,000		更生保護施設積立金	300,000	1,000,000
	雑 給 与	530,800	500,000	管 理 費		2,268,627	2,015,800
	福 利 厚 生 費	262,380	230,000		給 料 手 当	300,000	300,000
	旅 費 交 通 費	128,200	150,000		退 職 手 当	0	0
	通 信 運 搬 費	157,402	100,000	小 科 目	雑 給 与	220,000	240,000
	消 耗 品 費	22,194	30,000		会 議 費	380,954	400,000
	備 品 補 修 費	0	0		交 際 費	186,990	150,000
	減 価 償 却 費	366,819	0		旅 費 交 通 費	196,280	150,000
	印 刷 製 本 費	18,900	20,000	科 目	通 信 運 搬 費	97,771	150,000
	雑 費	11,674	315,000		消 耗 品 費	37,831	33,000
	啓 発 費	179,023	180,000		備 品 補 修 費	8,715	3,000
	連 絡 調 整 費	3,800,006	2,499,200		減 価 償 却 費	0	0
	継続保護事業連絡調整費	138,400	70,000	目	印 刷 製 本 費	0	0
	一時保護事業連絡調整費	50,000	70,000		賃 貸 料	48,715	50,000
	連絡助成事業連絡調整費	0	50,000		雑 費	791,371	539,800
	保護司活動連絡調整費	551,830	413,600	特 別 会 計 繰 入 金 支 出		400,000	0
	更生保護婦人会活動連絡調整費	105,000	100,000	予 備 費		0	227,000
				支 出 合 計		24,193,864	19,044,000

寄附金の項

広島県更生保護婦人会から全国学生BBS大会へ指定寄附20万円

広島市地区更生保護婦人連絡協議会から一時保護事業の金品給与費への指定寄附15万円

機関紙「会報」掲載広告寄附225,000円

広島県

更生保護協会事業の

課題にむけて

平素は、当会の事業にご協力を頂き、衷心より厚くお礼を申し上げます。

当会は、県下を事業区域として、諸活動に助成をさせていただいています。

資金の主なもの、篤志家からの寄付金、財産から生じる利息及び配当金などの果実収入並びに賛助会員による会費です。当会の持つ使命に賛同された、年一口三千円以上の会費は、安定した収入源となつて、事業を支えていただいています。

しかし、これらの会費収入は、関係団体の諸事業に対する助成も多いことから、当会の重要な事業の一つで

もある更生保護施設と両輪になつて、その施設運営を支えていくという目的は、十分に果たされていない現状にあります。

県下には、ご承知の通りウイズ広島と呉清明園の二つの施設があります。年間、それぞれ七〇万円ずつを運営資金として助成させていただいておりますが、それらの施設を訪れた際、目や耳にする窮状は、深刻なものがあり、あまりに微々たる助成金額に、恥じ入るばかりです。三〇五年後には、両施設とも老朽化により建て替えが予定されているということも伺っています。

当会の事業目的と賛助会

員の皆様方のお気持ちを考えますと、寄せられた浄財は真つ先に更生保護施設の充実のための助成をさせていただかなければならないと思つてゐる次第です。

しかし、世は不況の嵐が吹き荒れ、先行きの不透明な経済状態が続いております。篤志家の発掘も年々困難となり、県内の大手の企業でさえ、会員を辞退されている現況にあります。その他、金利の低下により、果実収入は大巾に減少してしまいました。

新年度にあたり、各団体から助成金の要望を伺いましたが、事業経費に必要な配分が不可能で、要望に十分に添えなかつた事は、役員一同心を痛めたところで

す。経済社会に凌ぎを削つて生きる我々としては、事業の見直し、事業の優先順位、経費の削減等に頭を悩ませています。このような世相だからこそ更生保護事業

には十分な活動資金を提供していかねばならない事は、よくよく理解しているつもりです。

そしてこの状況の打破のため、我々役員が率先して篤志家や賛助会員の発掘に努力していくことは勿論の事ですが、収益事業の取り組みも考えて参りました。しかし、行政的にも物理的にも余りに多くの問題があり、当事業実施には時間がかかるようです。

「保護司会金は金を集める会ではない」とのお叱りを受ける事もございますが、保護司をはじめとする会員の皆様には寄付・会費の募集などで日頃ご苦勞ばかりおかけしています。その様な経緯ではなく、地域での貴い活動を思ひますと、十分援助をさせていただくのは当然の事でございます。しかし、お心にそぐわない事も多々あると思ひますが保護司の方々から募集いただきました浄財のほとんど

は、保護司関係の活動などに助成させていただいています。

こんな中、目前に更生保護施設等による特別な事業が、進められようとしています。両施設や行政からも、建設資金提供への要請も伺つてゐるところです。

具体的には、行政や両施設の連携のもと実施させていただきます。

ここ当分経済不況のムードは、続くようです。

しかし、このような時こそ、当会は更生保護事業の礎となるよう努力しなければならぬと覚悟しているところです。

どうか実情をご理解頂き今後ともより一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、伏してお願ひ申し上げます。

更生保護法人

広島県更生保護協会

総務会一同

新常務理事の紹介

平成一〇年二月一八日付就任

吉田愷忠

菱光産業(株)代表取締役



更生保護施設訪問

平成九年一月二六日及び二月四日当会の理事長・理事などが更ウイズ広島・呉清明園の両施設を訪問。同施設の理事長及び主幹から建て替えについての説明を聞いた後、施設内を見学した。

広島県更生保護協会懇談会
および感謝状伝達式の開催

平成一〇年七月六日午前一時から、ひろしま国際ホテルにおいて、当会に協力をいただいている市内の企業を招いて懇談会を開催した。岡本理事長から当会の事業の支援に対し謝辞を述べるとともに、犯罪のない明るい社会を目指して今後一層のご理解をいただくようお願いした。

席上、広島保護観察所長が法務大臣等の感謝状の伝達を行った。



参 加 者 (順不同)

サ 株	イ 国	エ 釀 電	ン 造 力	ス 株	常 常	務 務	取 取	締 締	役 役	遠 遠	藤 藤	醇 様
中 中	国 国	電 電	ス 銀	株	取 取	取 取	締 締	部 部	長 長	浜 浜	崎 崎	行 様
株	島	ガ	ス	株	常	務	取	役	役	北	野	莊
中	島	島	鉄	工	取	報	化	一	ム	惣	津	雄
株	島	電	作	行	取	務	部	部	長	深	山	樹
株	竹	ジ	光	株	取	業	締	締	役	白	石	男
株	洋	製	恩	所	取	表	取	取	役	本	岡	司
佐	山	観	恩	所	取		取	取	役	田	本	規
東	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	健
画	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
財	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
多	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
広	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
島	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
中	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
央	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
イ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
オ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ズ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ク	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ボ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
リ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
グ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ズ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ク	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ボ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
リ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
グ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ズ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ク	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ボ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
リ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
グ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ズ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ク	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ボ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
リ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
グ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ズ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ク	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ボ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
リ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
グ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ズ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ク	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ボ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
リ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
グ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ズ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ク	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ボ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
リ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
グ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ズ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ク	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ボ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
リ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
グ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ズ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ク	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ボ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
リ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
グ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ズ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ク	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ボ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
リ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
グ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ズ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ク	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ボ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
リ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
グ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ズ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ク	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ボ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
リ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
グ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ズ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ク	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ボ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
リ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
グ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ズ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ク	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ボ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
リ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
グ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ズ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ク	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ボ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
リ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ン	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
グ	山	報	恩	所	取		取	取	役	井	田	則
ラ	山	報	恩	所	取		取</					



(大臣感謝狀受彰 北田和広氏)

感 謝 狀 受 彰 者

法務大臣感謝状

広島中央ライオンズクラブ 様
(財)多山報恩会 様
北 田 和 広 様

中国地方更生保護委員会委員長感謝状

東洋観光(株) 様

広島保護観察所長感謝状

山陽コカ・コーラボトリング(株) 様
(株)ヒロコシフーズ ラリーズ白島店 様

役 員 名 簿

更生保護法人広島県更生保護協会

(H10年7月現在)

(理事長)

岡本 繁

(医療法人社団朋和会会長)

広島市井口台三一二八―一三

(副理事長)

佐竹 覚

(株)佐竹製作所会長)

東広島市西条西本町二―三〇

徳永 幸雄

(広島ガス(株)代表取締役会長)

広島市南区皆実町二―七一

森本 弘道

(株)広島総合銀行取締役頭取)

広島市中区胡町一―二四

多田 公照

(中国電力(株)取締役会長)

広島市中区小町四―三三

(常務理事)

吉田 愷忠(菱光産業(株)代表取締役)

(理事)

下竹 勇夫(株)呉自動車学校取締役)

津久江一郎(医)瀬野川病院長)

真木 政雄(株)山貴代表取締役会長)

石井 蓬菜(南地区更生保護婦人会長)

八島 敏郎(三原地区保護司会長)

谷川 和穂(衆議院議員)

松尾 福三(広島県遊技業協同組合理事長)

林 正夫(県議會議員)

中尾 建三(株)中尾鉄工所代表取締役)

中島 和雄(広島駅弁(株)専務取締役)

和田 長一(井溝土地改良区理事長)

(監事)

藤浦 敏章(佐伯地区保護司会長)

常本 英昭(社)広島銀行協会専務理事)

(評議員)

木原 宏(中地区保護司会長)

田村 求弘(東地区保護司会長)

大石 義見(南地区保護司会長)

神崎 常夫(西地区保護司会長)

沖 久雄(安佐南地区保護司)

杉廣 修(安佐北地区保護司)

高原 昌(広島安芸地区保護司会長)

大片 輝之(広島佐伯地区保護司会長)

山口 知(呉地区保護司会長)

保道 保(三原地区保護司会副会長)

橋本 隆(尾道地区保護司会長)

松浦 貢(世羅地区保護司会長)

土橋 武士(福山地区保護司)

青柳 登(因島地区保護司会長)

八田 信道(佐伯地区保護司会副会長)

森本 公雄(大竹地区保護司会長)

石地福三郎(江田島地区保護司会長)

吉原 久(安芸地区保護司会長)

河野 哲文(山県地区保護司)

大下 治郎(高田地区保護司会長)

水戸 正晃(東広島地区保護司会長)

上本 房雄(豊田地区保護司会長)

大下 博文(大崎地区保護司)

杼原 睦(芦深地区保護司会長)

正畑 恵(甲奴地区保護司会長)

津村 影範(神石地区保護司)

末信 博(双三地区保護司会長)

敷本 敦毅(比婆地区保護司会長)

藤井 徳夫(有いまよしマート代表取締役)

織建 末子(広島県更生保護婦人連盟会長)

筒井 數三(株)シンコー取締役社長)

香川 勝(香川精機(株)代表取締役)

田中 幸夫(株)シンギ代表取締役)

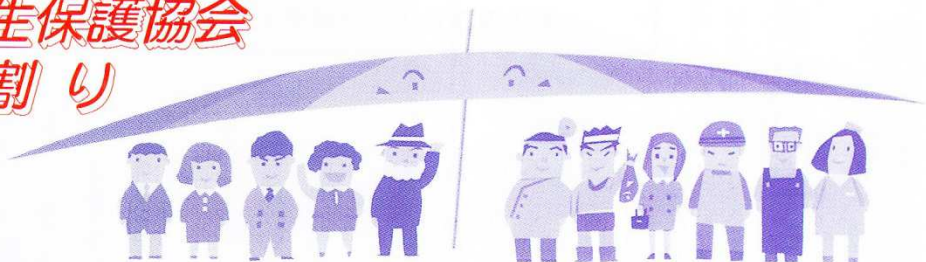
安部 憲明(税 理 士)

久保田宏温(東広島食糧企業組合代表理事)

職 員

(主 幹) 谷尾 範子
(事務局員) 宮本 昭子

更生保護法人 広島県更生保護協会 の役割



犯罪や非行のない明るい社会を築くために

更生保護協会は、広島県内における更生保護活動を広く社会に知らせ、より活発な活動を行うことを目的とし、法務大臣の許可を受けて活動している民間の団体です。

更生保護とは大きく分けて、次の二つの柱からなっています。

1. 不幸にして非行に走った少年や罪を犯した人たちを人間として尊重し、地域の人々の理解と協力により、一日でも早く善良な社会の一員として自立できるよう、暖かな手をさしのべ援助すること。
2. 明るい社会を築くためには、まず犯罪や非行を防止することが大切です。その防止対策を広く社会にアピールし、世論の啓発に努め、地域社会の浄化を目的とした犯罪防止策の広報活動を行うこと。

更生保護は、刑事政策の一貫として国の責任において遂行されるものですが、国の機関の活動だけでは、十分にその成果を上げることができません。私たちの共通の願いである、犯罪や非行のない明るい社会の実現のため、ぜひとも皆さん一人一人の理解と協力が必要です。暖かなご支援をお願いいたします。

あなたの優しさをわけてください

犯罪や非行防止のため、日夜たゆまず活動している人たちや団体に対して、できるかぎりの援助をしたいと思います。

本会では、ご援助いただける会員（普通会员・賛助会員・特別会員）を広く募集しています。皆さまの暖かなご支援をお待ちしています。

また、本会への寄附金品については税制上の優遇措置がとられるほか、顕彰や褒章の上申がなされます。

巻頭絵

“パートナー”

石田 克彦氏（光風会会員）
尾道市西土堂町二一四

現在 広島日展会会員
尾道美術協会会長

あとがき

丁度一年前、フィリピンにあるゴミ捨て場の中にできた識字学校を、訪れた時であった。マニラ市などの大都会から送られてきた華やかな消費文明の残骸をあさる子ども達、貧しくて学ぶ機会がなかった人達のため、学校を開いた女性校長に出会った。この巨大なスラムの町では、あらゆる犯罪・非行を見ることができた。彼女にはこの悲惨さが許せなかった。ゴミの中から一人立ち上がったのである。地域の人達も彼女に続いた。子ども達や自らを教育すること、立ち上がるうとしたのである。

日本から持参した薬品やお金は、根本的なことには役にたたない事を知った（しかしお金を出すときは、地球に住む隣人の一人として、感謝を持ってさしだすべきである事も知った）。

今、世界のNGOはその更生を見守っている。私も、静かにエールを送っている。

更生保護の事業も華々しいものではない。立ち直りを見守り励まし続ける事しかできないのではないかと思った。

これからも応援歌を街中に、広げていけたらと思った。
そんな思いを込めて本号は綴られた。

（谷尾）